

MORY

2026年3月期 決算説明資料

2026年5月8日

モリ工業株式会社



MORY INDUSTRIES, INC.

証券コード：5464

目次

1. 2026年3月期 連結決算概要	3
2. セグメント・製品部門別の売上高	12
3. 2027年3月期 連結業績予想	19
4. 株主還元	23
5. その他参考資料	25

2026年3月期 連結決算概要

売上高

432億円

(前年度比 $\triangle 6.2\%$)

営業利益

43億円

(前年度比 $\triangle 18.9\%$)

経常利益

48億円

(前年度比 $\triangle 14.7\%$)

親会社株主に
帰属する
当期純利益

33億円

(前年度比 $\triangle 18.6\%$)

2026年3月期 連結決算概要

売上高
営業利益率

10.1%

(前年度比 Δ 1.6%)

自己資本利益率
【ROE】

5.9%

(前年度比 Δ 1.6%)

自己資本比率

80.5%

(前年度比 +1.0%)

株価純資産倍率
【PBR】

0.61倍

(前年同期は0.68倍)

2026年3月期 決算のポイント



前年同期比減収減益だが、経常利益の当初予想は達成

- ・ 当初ステンレス管の量は横ばいを見込むも、若干の減少、材料価格も低下したが、値差は維持できた。
- ・ 受取配当金や受取利息の増加により経常利益は予想通りとなった。
- ・ 鋼管は建設仮設材の需要が回復。



国内需要の低迷→生産体制の強化

- ・ 安価な輸入材の増加。
- ・ 生産設備の高効率化、省人化、作業環境の改善に注力。

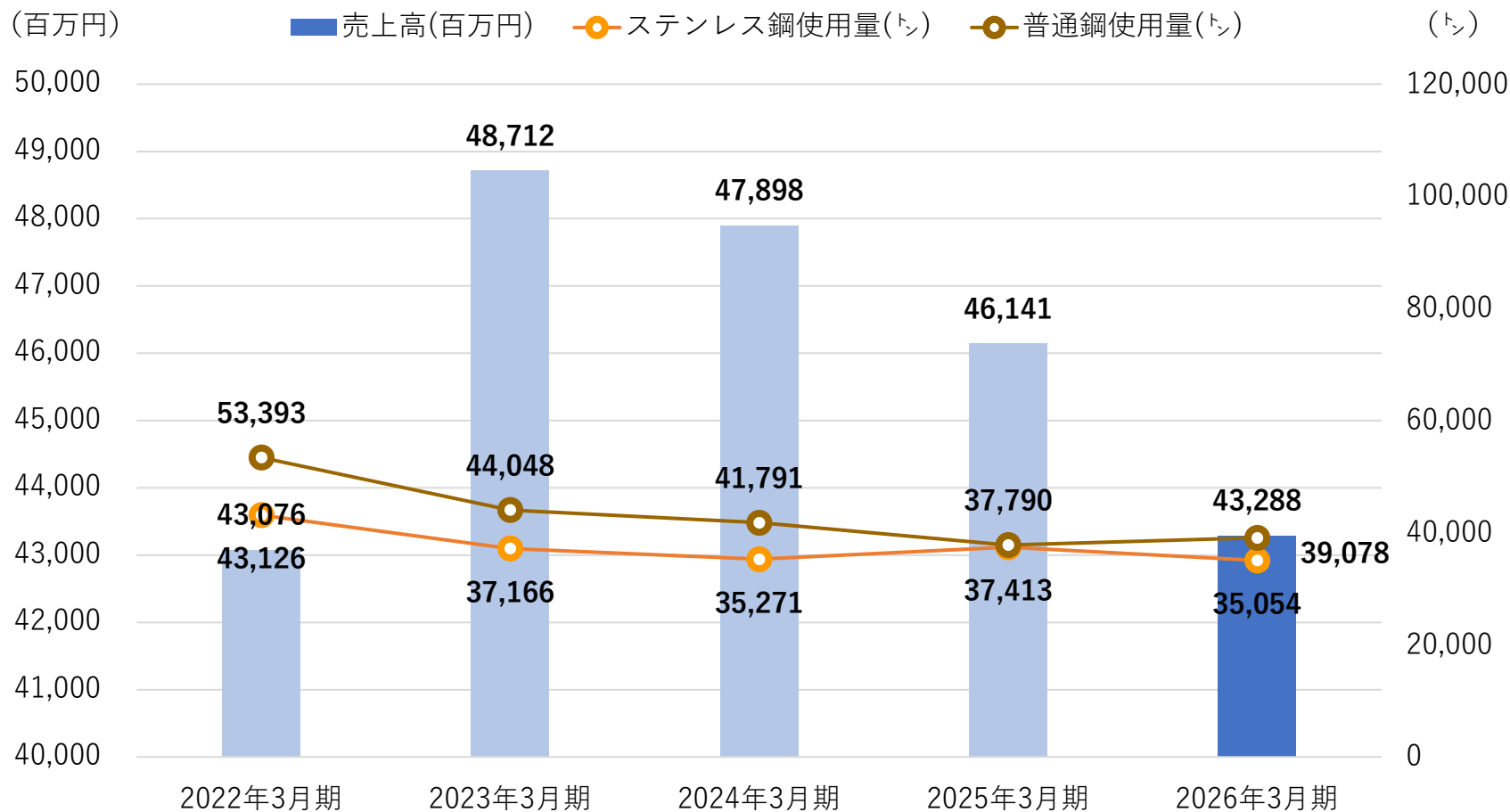


期末配当の維持

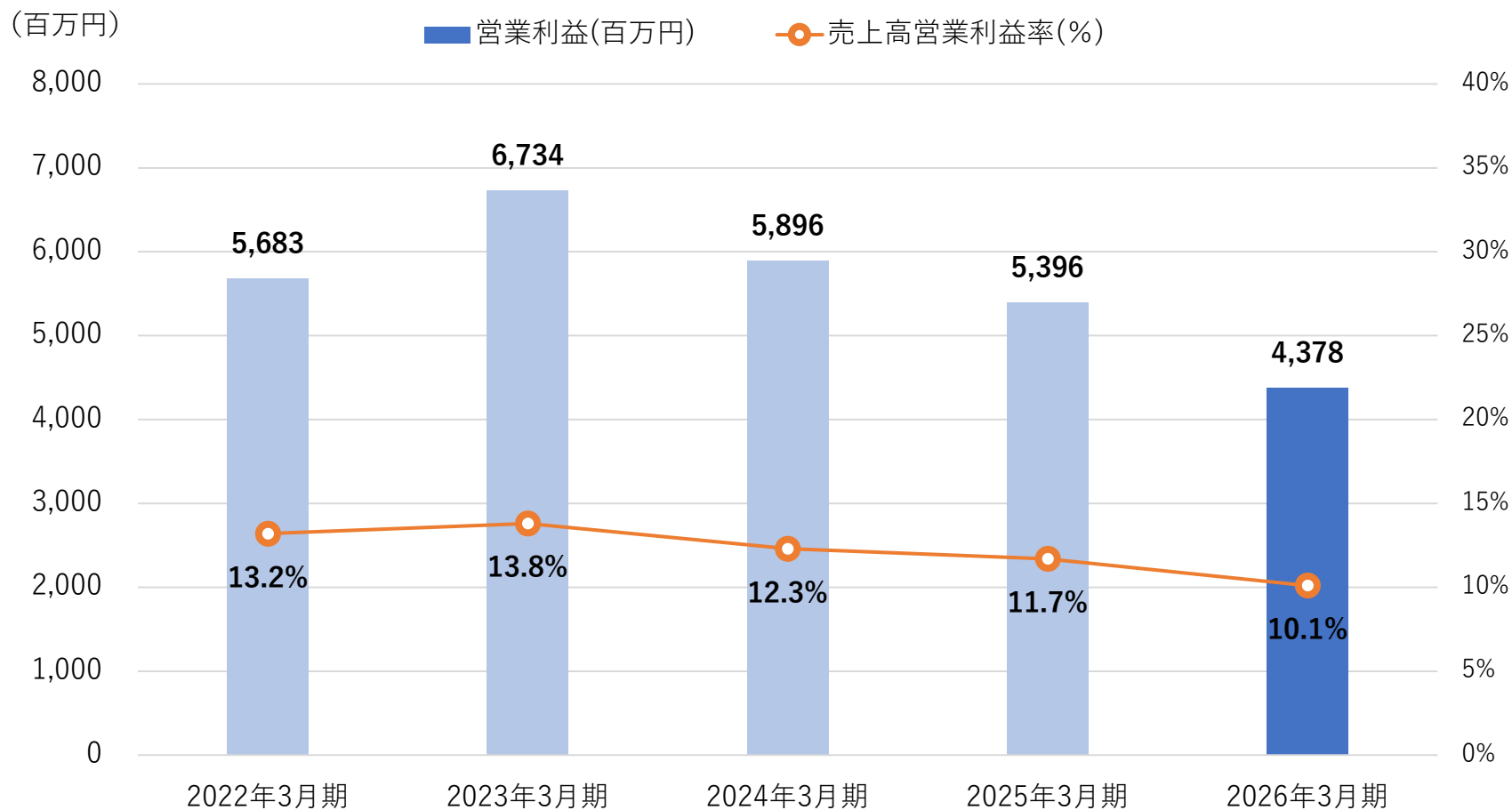
- ・ 若干の減益となったが、配当については、当初予想通りの1株当たり36円を維持。
- ・ 還元性向は40.7%。



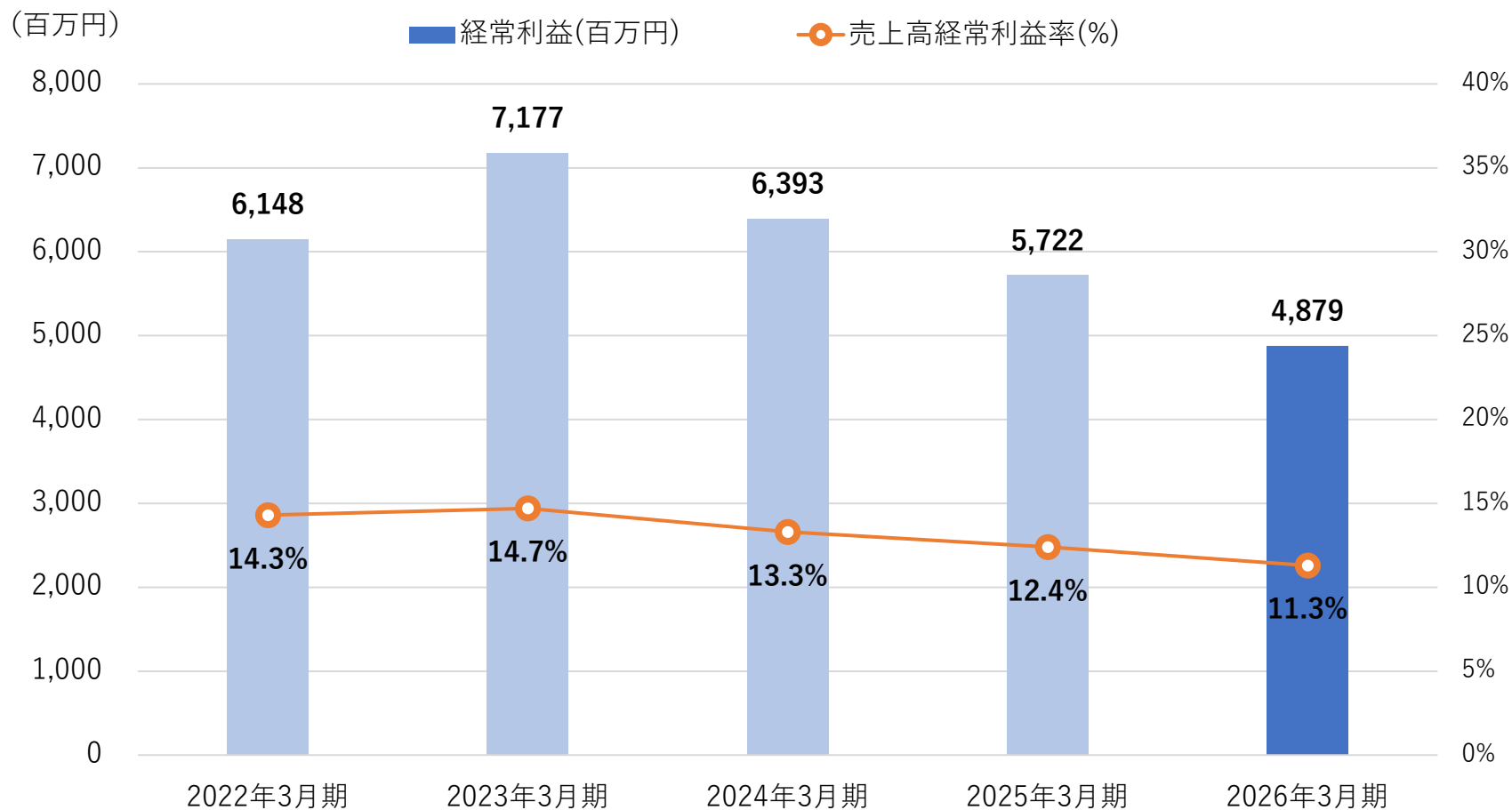
連結売上高の推移



営業利益の推移

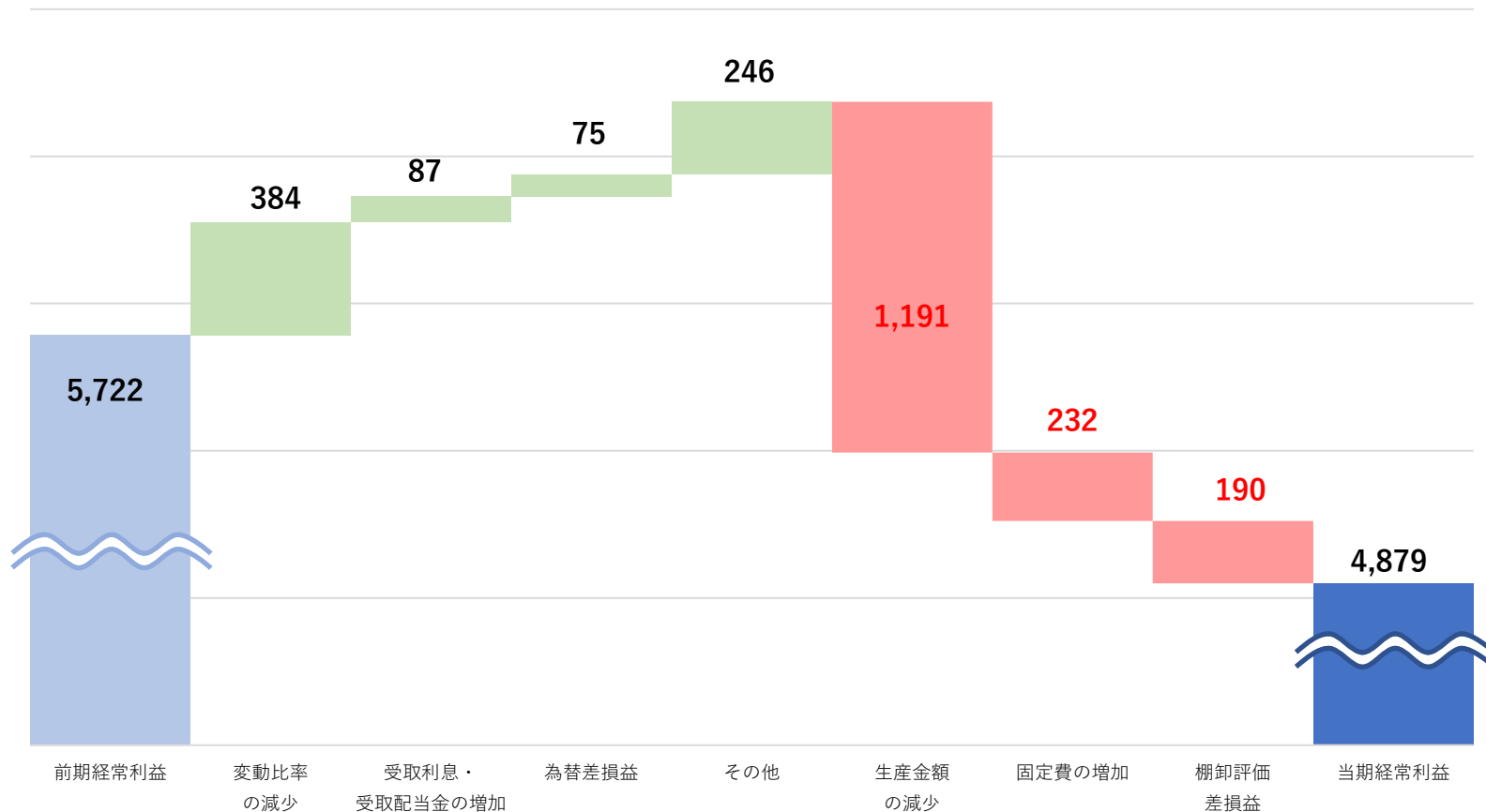


経常利益の推移



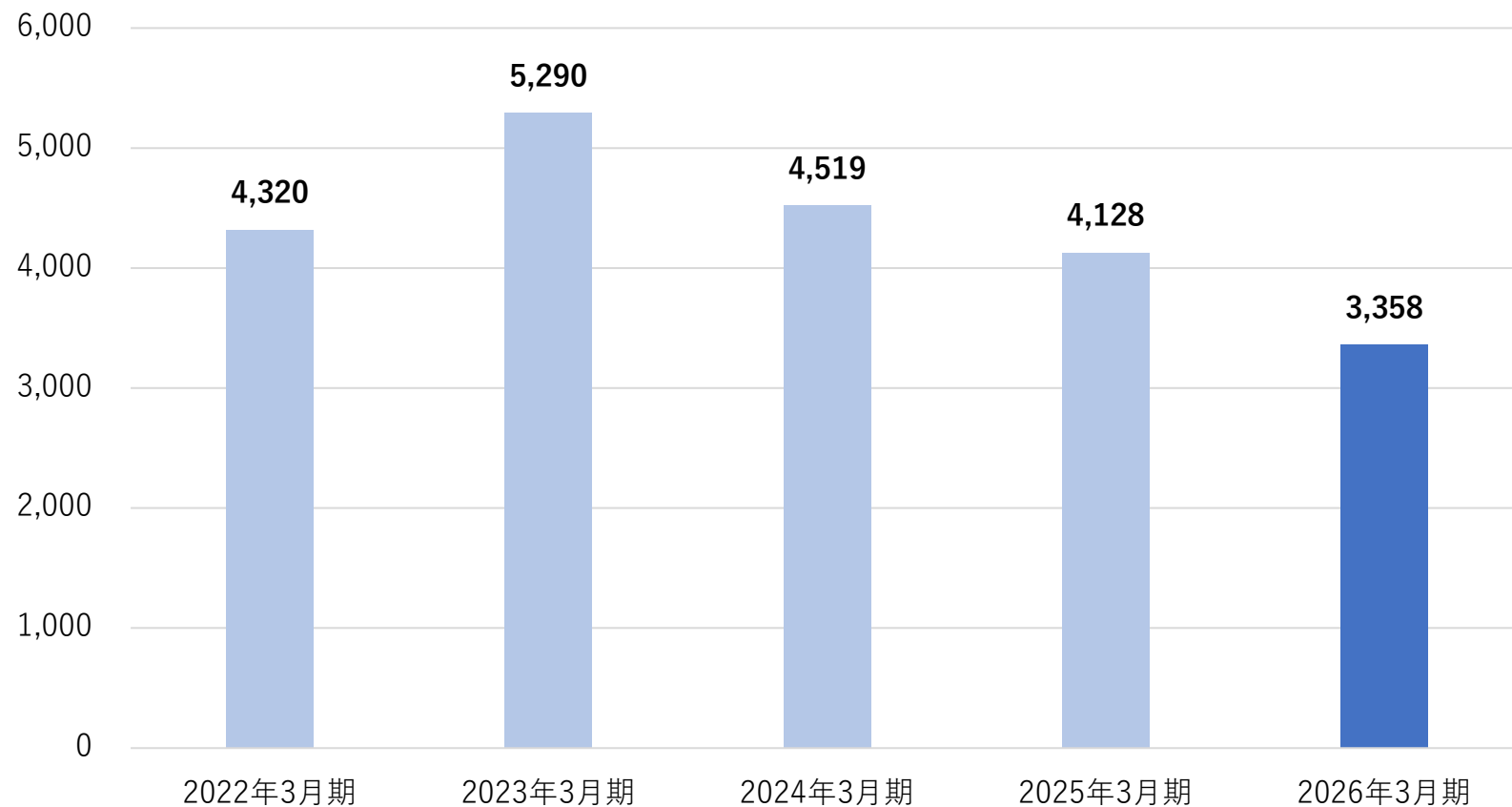
当期の経常利益増減要因（前期対比）

（単位：百万円）

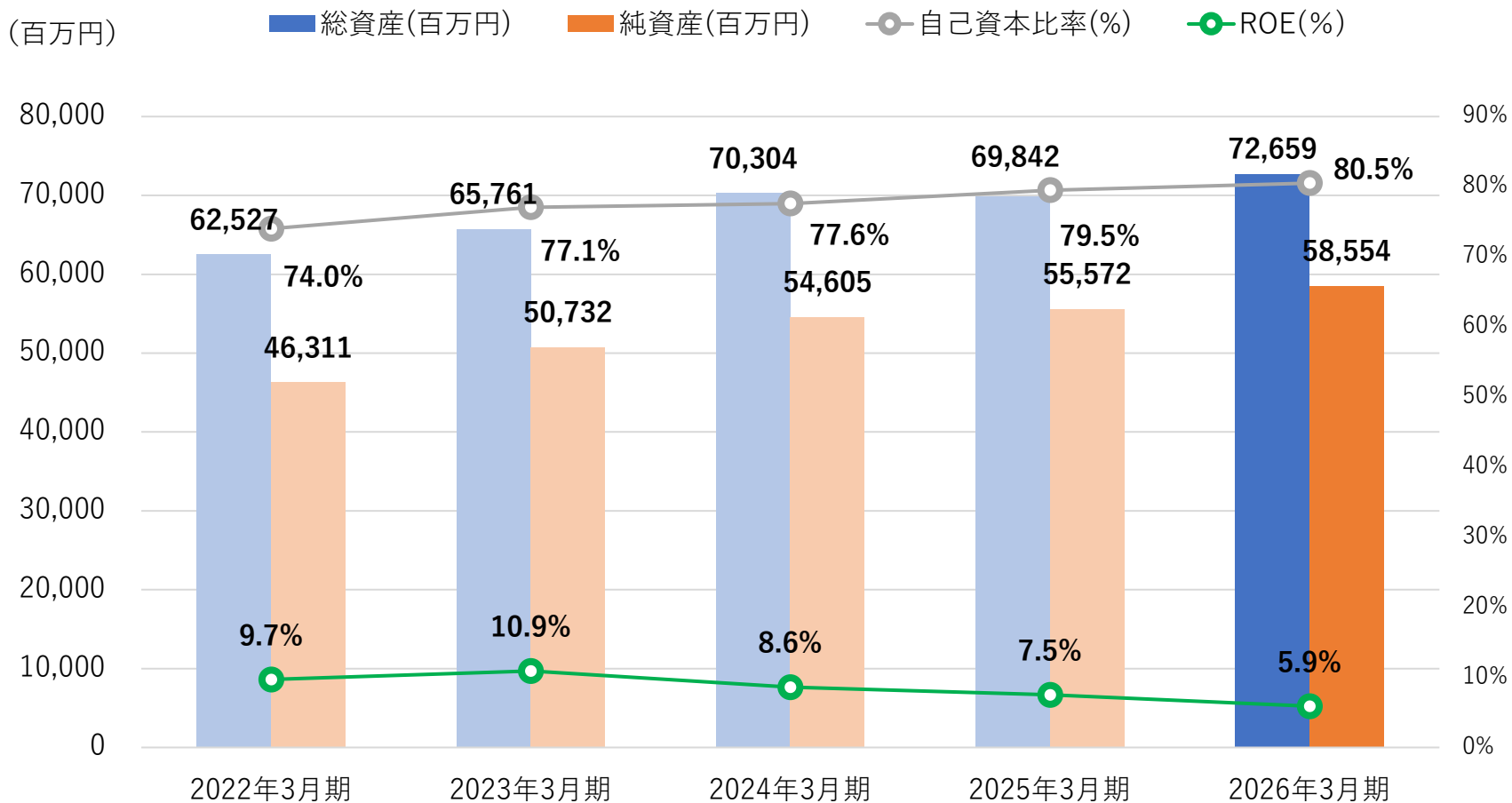


親会社株主に帰属する純利益の推移

(百万円)



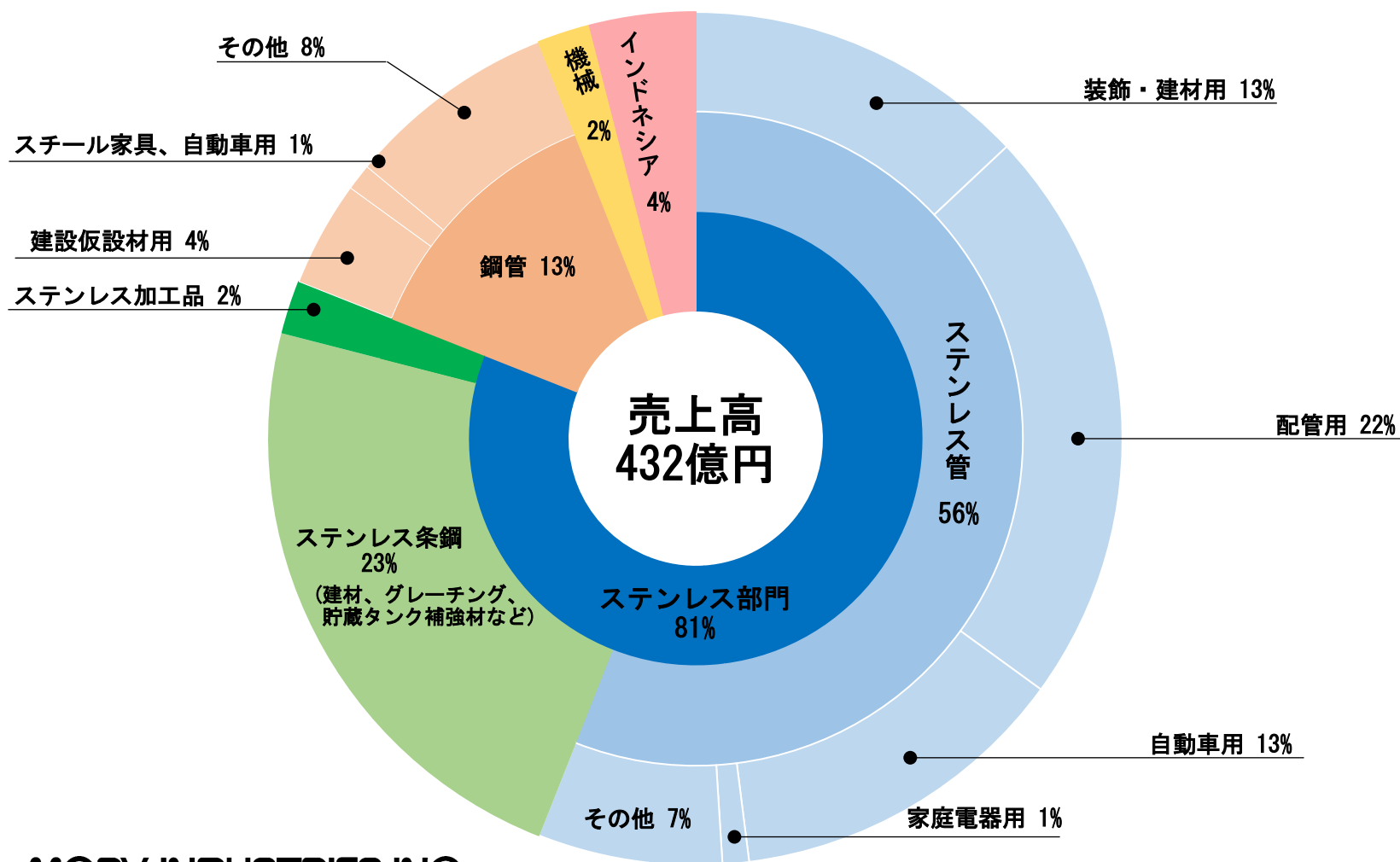
総資産、純資産、自己資本比率、ROE



目次

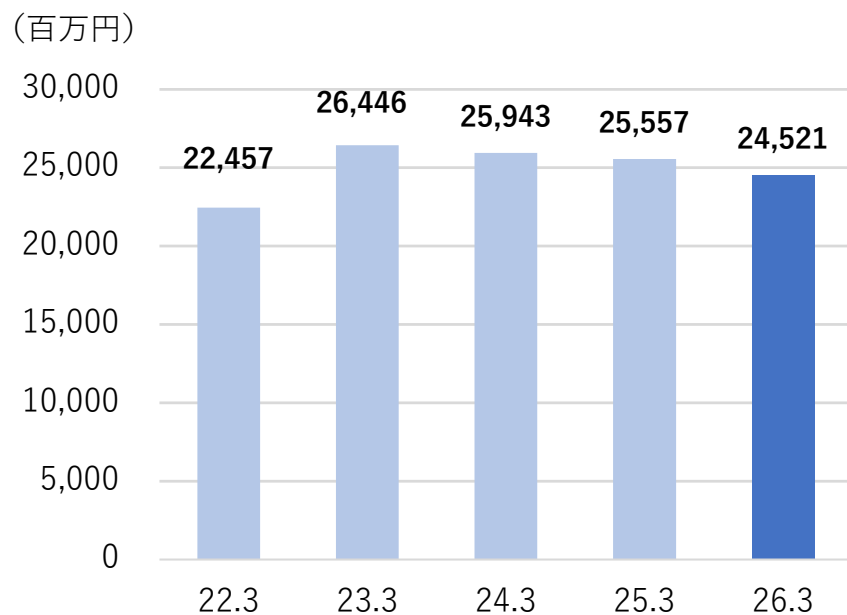
1. 2026年3月期 連結決算概要	3
<u>2. セグメント・製品部門別の売上高</u>	<u>12</u>
3. 2027年3月期 連結業績予想	19
4. 株主還元	23
5. その他参考資料	25

2026年3月期 連結売上構成比率



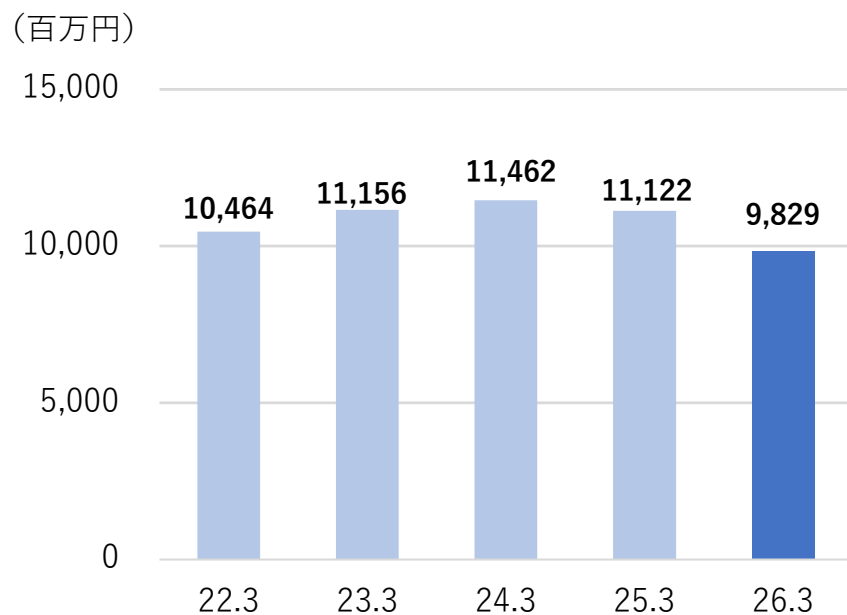
製品部門売上高（ステンレス管）

- 自動車用・配管用ともに販売単価・販売数量の低下。



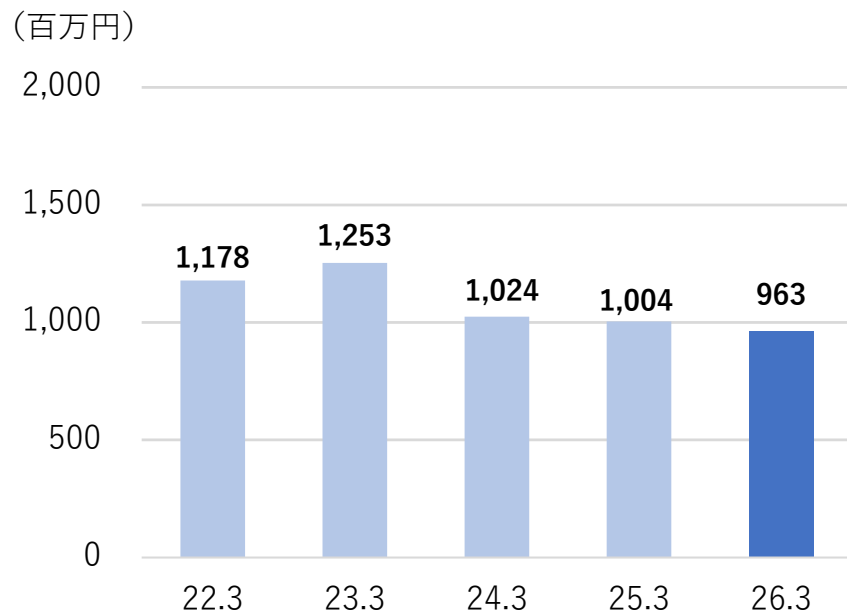
製品部門売上高（ステンレス条鋼）

- 販売数量が大幅に減少。



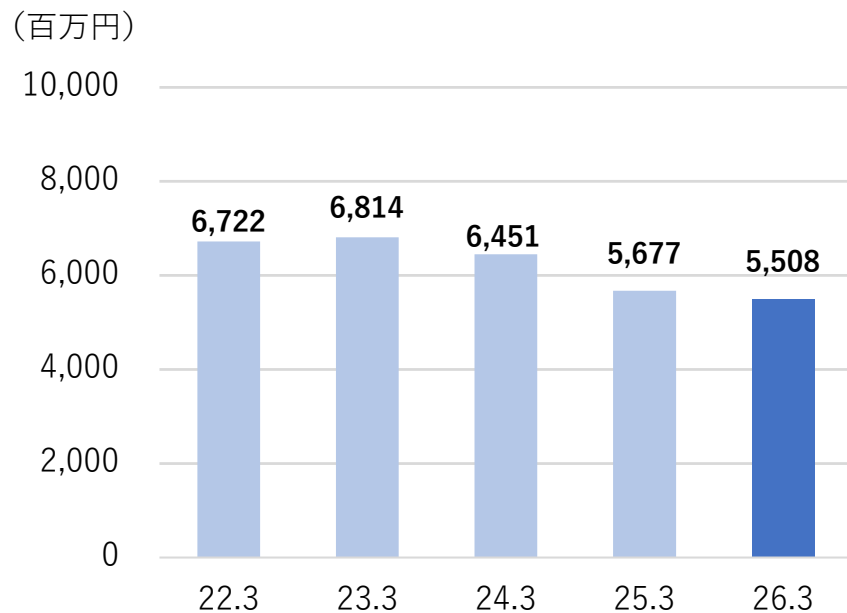
製品部門売上高（ステンレス加工品）

- ・ 給湯器用フレキ管の売上が回復。
- ・ その他加工品の販売が減少。



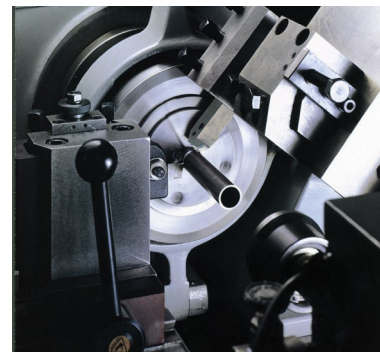
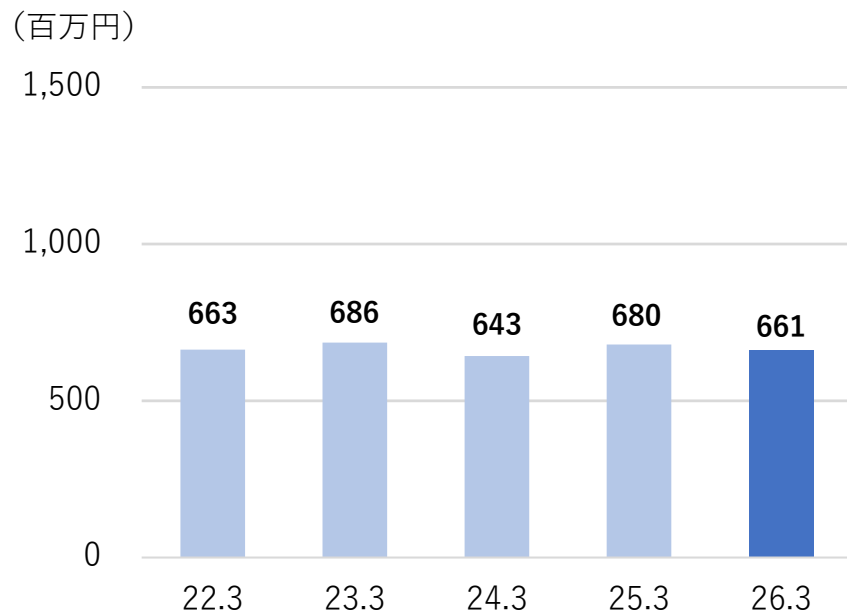
製品部門売上高（鋼管）

- 建設仮設材用は販売数量回復。
- 販売価格は下落。



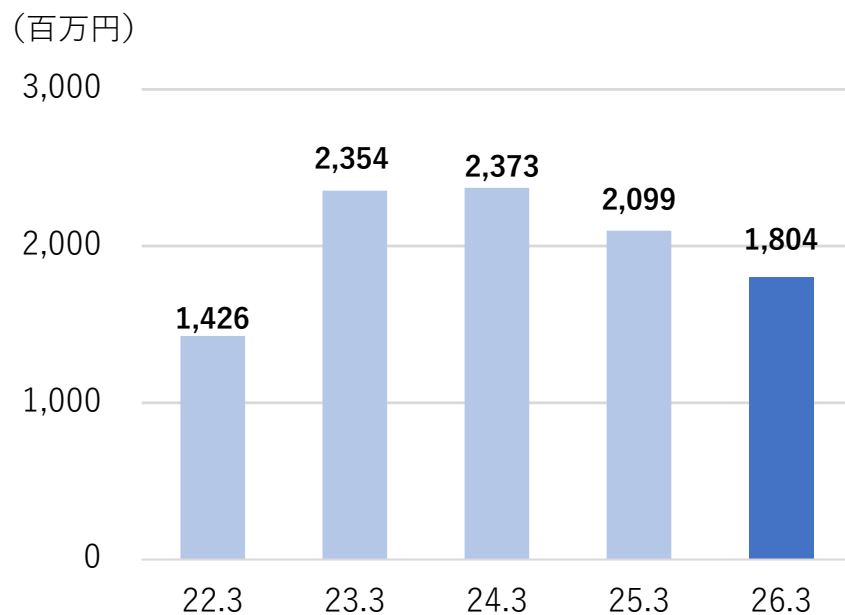
製品部門売上高（機械）

- 販売台数が減少。



インドネシア

- 二輪用は客先の一部が内製化を開始、
四輪用は完成車のローン審査厳格化により、
ともに販売数量減少。



目次

1. 2026年3月期 連結決算概要	3
2. セグメント・製品部門別の売上高	12
<u>3. 2027年3月期 連結業績予想</u>	<u>19</u>
4. 株主還元	23
5. その他参考資料	25

2027年3月期 連結業績予想

売上高

443億円

(前年度比 2.3%)

営業利益

41億円

(前年度比 △6.4%)

経常利益

46億円

(前年度比 △5.7%)

親会社株主に
帰属する
当期純利益

32億円

(前年度比 △4.7%)



2027年3月期 業績予想のポイント



環境

- ・長引くウクライナ情勢に加え、中東情勢の悪化により、外部環境は不安定で企業経営には厳しい状態になると予想。今後の中東情勢いかんによって、経済環境が激変する可能性もあり。



売上

- ・実需の回復は望めず、販売数量はほぼ横ばいを予想。
- ・販売価格は値上げの浸透を図る。



利益

- ・材料価格は上昇が見込まれるため、販売価格への転嫁が必須となり、また、人件費や運送費に加え、梱包材などの副資材の価格上昇も見込まれる。
- ・通期の連結業績は前年比で若干の増収減益を予想。



2027年3月期 重点取組テーマ



配管の競争力強化

- ・世界的に混乱が予想される1年だが、不確実なことに振り回されず、当社の強みである、配管小径管のコスト競争力の強化に努める。



設備のリニューアル

- ・既存生産設備の改修・改善、最新鋭の設備導入による能力最大化・安定操業確保を図る。
- ・分散する工場を集約する新工場の建設を進める。



技術のチャレンジ

- ・外部アライアンスも積極的に検討し、新しい事業領域への足掛かりを探る。
- ・太陽光発電設備の拡大、再生エネルギー導入に取り組む。



人的資本の強化

- ・従業員エンゲージメントを向上させる人事制度改革の実現。

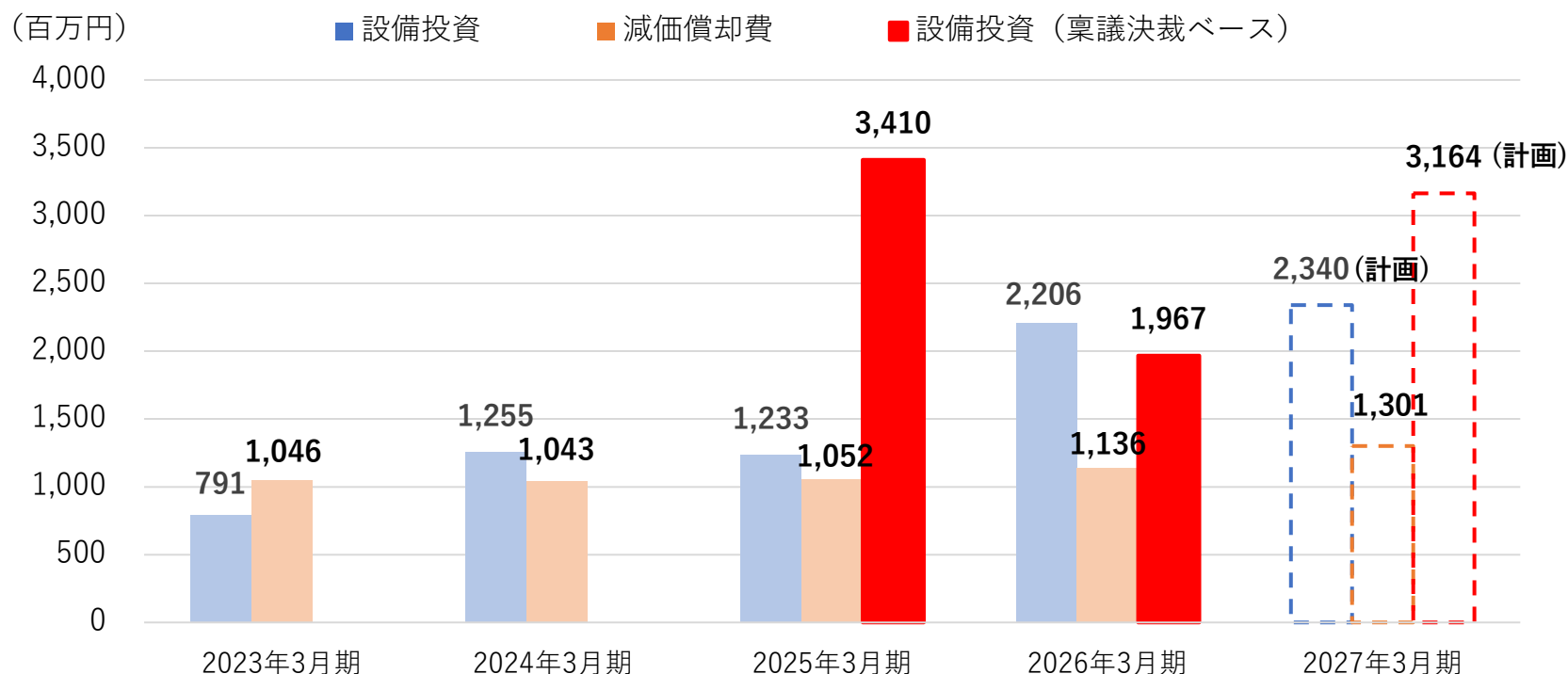


中期経営計画MORY-PLAN26の 進捗状況—財務目標—

		2025年 3月期実績	2026年 3月期目標	2026年 3月期実績	2027年3月 期当初目標	2027年3月 期修正目標
売上高 (億円)		461	458	432	515	443
	ステンレス管	255	251	245	278	244
	ステンレス条鋼	111	112	98	125	110
	ステンレス加工 品	10	11	9	15	9
	鋼管	56	55	55	66	56
	機械	6	5	6	6	6
	インドネシア	20	22	18	25	18
営業利益 (億円)		53	46	43	59	41
ROE直近5年平均 (%)		8.5	8.5	8.5	8.1	7.7

設備投資・減価償却費の実績と計画

・2027年3月期の設備投資の主なものは、既存設備のリニューアル（造管機、圧延機など）を見込んでいる。一部、部品の入手の遅延が予想され、前倒し手配のため計画が増額となっている。



※有形固定資産のみの金額を記載

中期経営計画MORY-PLAN26の 進捗状況—投資計画—

- ・2025年3月期から2027年3月期の3年間で90億円規模の投資を計画
既存事業と経営基盤の強化を喫緊の課題と認識し、重点的に投資を実行

		2026年3月期 実績	2027年3月期 計画	3年間累計	
営業キャッシュフロー	既存事業強化枠 50億円	既存設備のリニューアル 30億円	14.4億円	49.1億円	
		工場の新設、設備の新設・増設 20億円	3.5億円 (稟議決裁ベース)	14.8億円 (稟議決裁ベース)	34.5億円 (稟議決裁ベース)
	新たな分野への 挑戦枠 15億円	新たな海外進出の検討、足がかり 10億円	1.5億円	—	1.5億円
		新製品の生産体制確立 5億円	0.2億円 (稟議決裁ベース)	— (稟議決裁ベース)	0.2億円 (稟議決裁ベース)
自己資金	経営基盤強化枠 25億円	D X 投資 14億円	0.7億円	2.4億円	
		人的資本投資 11億円	4.0億円	4.0億円	10.4億円
	株主還元	連結配当性向40%程度を維持	40.7%	40.3%	40.3%

堅実かつ戦略的な投資と安定した配当性向の実現を目指す

中期経営計画の振り返り



2026年3月期計画と実績との差異

- ・当初の想定より販売量が減少、材料価格、販売価格ともに下落したが、値差は維持した。鋼管は需要が回復した。



2027年3月期当初計画と修正目標との差異

- ・トランプ関税や中東情勢の影響により、ユーザーサイドの新規事業計画の遅れや、国内需要全般の低迷が生じており、当初目標を修正。



投資計画について

- ・既存事業強化投資は順調に進んでいるが、新たな分野への投資は予定より遅れている。

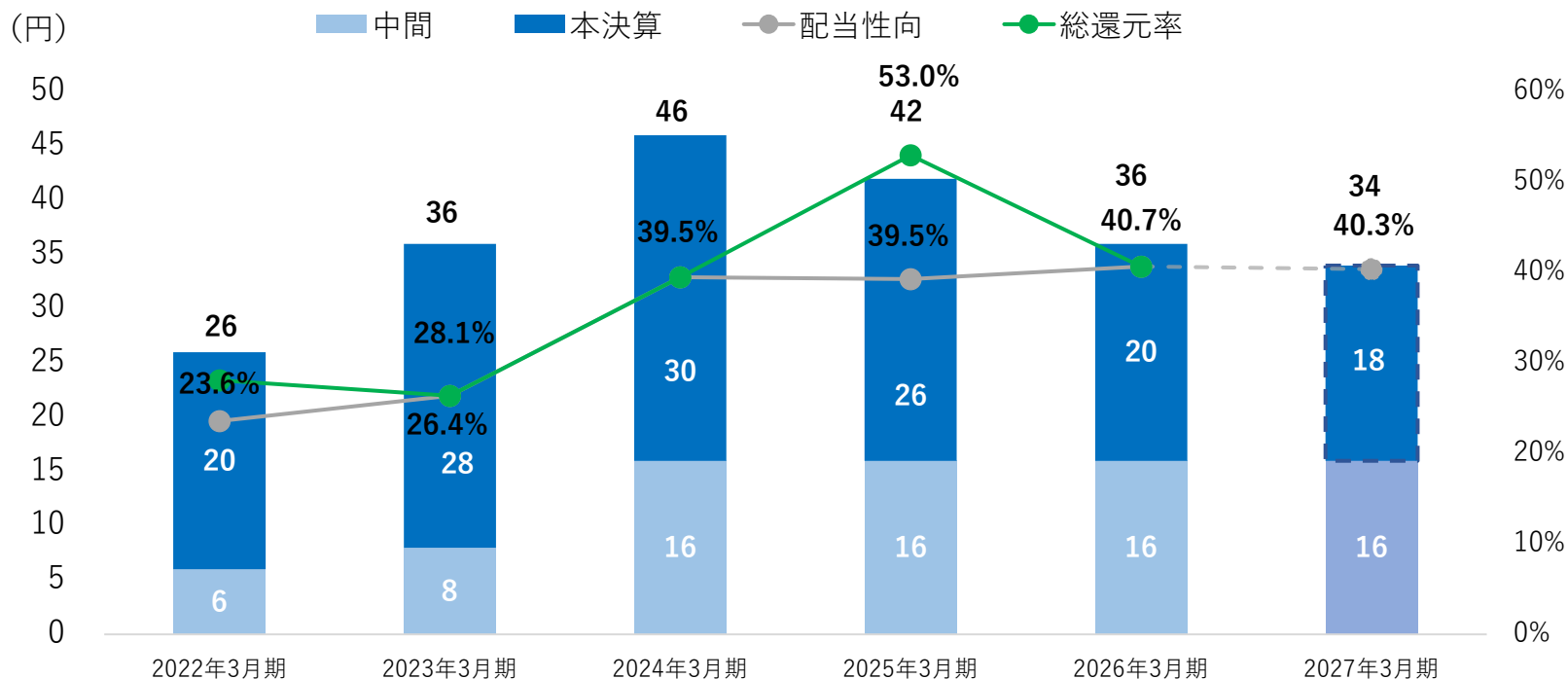
目次

1. 2026年3月期 連結決算概要	3
2. セグメント・製品部門別の売上高	12
3. 2027年3月期 連結業績予想	19
4. <u>株主還元</u>	<u>23</u>
5. その他参考資料	25

株主還元実績と予想

- 株主還元については、連結配当性向を40%程度。

※当社は2025年4月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割実施。2021年3月期期首に当該株式分割が行われたと仮定して、配当金・配当性向・総還元率を算定。

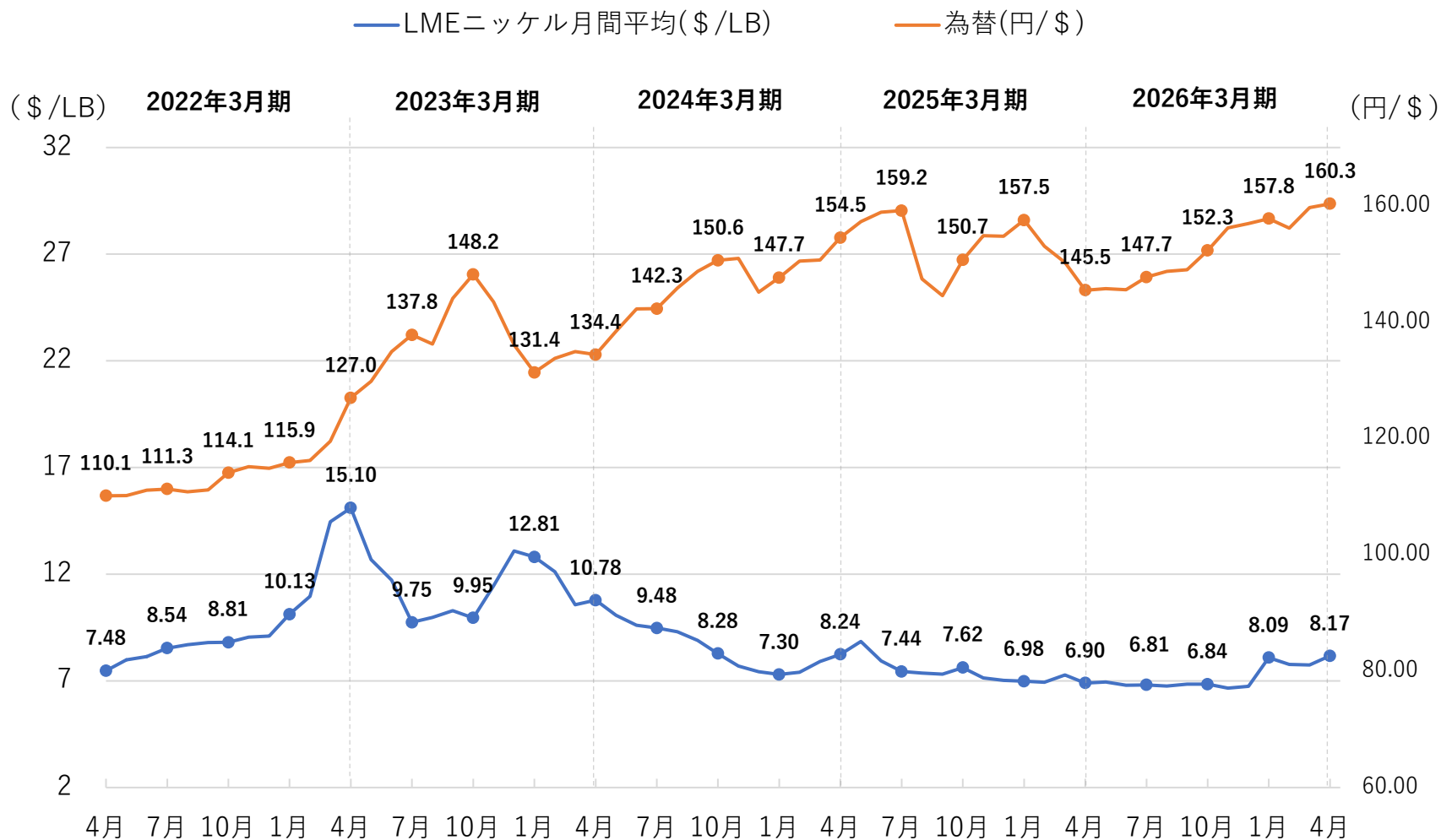


※2023年3月期、2024年3月期、2026年3月期は自社株買いなし (予想)

目次

1. 2026年3月期 連結決算概要	3
2. セグメント・製品部門別の売上高	12
3. 2027年3月期 連結業績予想	19
4. 株主還元	23
<u>5. その他参考資料</u>	<u>25</u>

LMEニッケル価格、為替の推移



MORY

今後とも一層のご理解とご支援を
賜りますようお願い申し上げます

モリ工業株式会社

本資料は投資家の参考に資するため、モリ工業株式会社（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として作成したものです。本資料に記述されております業績見通し等の数値につきましては、本資料作成時点で予測可能な情報に基づく当社の経営陣の判断に基づいております。したがって、これらの将来に関する記述には、様々なリスクや不確実性があります。よって、その完全性を保証するものではなく、様々な要因の変化で実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。